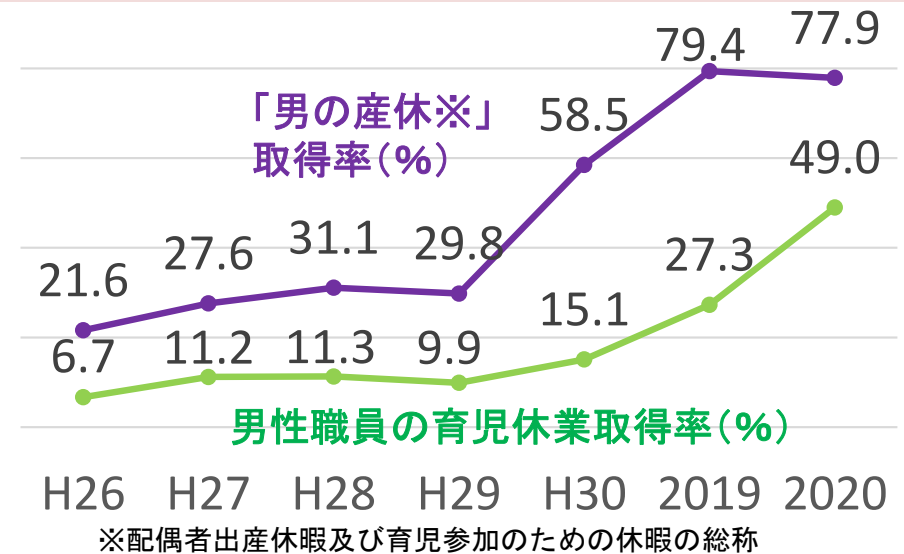


ワークライフバランスに関する取組

主な両立支援制度

産前休暇・産後休暇【女性】	出産の6週間前から出産後8週間までの休暇
配偶者出産休暇【男性】	妻の出産の付添い等のための休暇(2日)
育児参加のための休暇【男性】	妻の産前産後期間中に子を養育するための休暇(5日)
育児休業	一定期間の休業(子が3歳になるまで)
育児短時間勤務	短い勤務時間での勤務(子が未就学まで)
早出遅出勤務	1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可(勤務時間の変更)
子の看護休暇	年5日(子が未就学まで)

<農林水産省>
女性の育児休業取得率は100%
男性の育児休業取得率も増加



働き方改革

農林水産省では、全ての職員が能力を発揮しながら、生き生きとやりがいを持って働くことができる職場環境作りを推進しています。

- ✓ 業務の効率化・デジタル化の推進
- ✓ テレワークの推進
- ✓ 的確な勤務時間管理による超過勤務縮減
- ✓ 年次休暇の取得推進



職員の声（総合職）

2021年度入省者の声

仕事の魅力・やりがい

- 国の予算や制度といった大きな仕事に携わることができます。国会議員に説明を行う上司に同行する機会もあります。
- 制度の策定・改定や国会対応など非常に責任のある仕事に携わっていることにやりがいを感じます。
- 補助事業の運用にあたって、地方農政局や都道府県、市町村の職員とやり取りするなど、多くの人と協力して仕事を進めることが魅力です。
- 自分が行った作業や作成した資料が、何らかの形で全国の多面的機能支払交付金の活動組織につながっていると感じられることがやりがいです。
- 「令和3年度かんがい排水事業の概要」という冊子を取りまとめました。調整など非常に大変でしたが、1冊の資料を作り上げやりがいを大きく感じました。

子育て中の職員の声

- 上司や人事の理解があり、個々の職員に寄り添った配慮をいただいています。
- 未就学児のいる現在、突発的な残業が多く発生するポストを担うことは困難ですが、その反面、長期的なデータ蓄積・検証が必要な業務や新しい課題への対応策の検討など、チャレンジングな仕事を任せられ、常にやりがいを感じられる環境です。【本省専門官】
- テレワークや時短勤務制度を活用していますが、同僚の皆さんのサポートにとっても助けられています。夫は民間企業に勤めていますが、私の職場復帰に合わせて基本的に在宅勤務をされており、子どもの保育園の送りや、家事育児を分担してくれています。【事業所課長】

職場の雰囲気

- 1年目で分からないことばかりですが、分からないことは丁寧に教えてくれます。上司とのコミュニケーションがとりやすく、仕事をしやすい環境です。
- 業務量は過度な負担にならないよう職員間で協力し、積極的に定時退庁を行うよう取り組んでいます。
- テレワークや有休取得が行いやすく、多様な働き方に理解がある人が多いです。
- 同期同士のつながりが強く、困ったことがあれば、すぐに同期に相談しています。



職員の声（一般職）

2021年度入省者の声

仕事の魅力・やりがい

- 採用された地方農政局管内での異動が中心になるため、赴任した地域の農業や農村の歴史などに直接触れながら深く関わるのが魅力です。
- 農政局で実施する国営事業の規模の大きさや、国の施策の重要性はもちろん、県営事業などの指導を行っており、施策の効果が現場でどのように現れているか、担当として直接把握できることも大きな魅力です。
- 農業生産の基礎である水の安定供給を担うことに使命感とともにやりがいを感じます。また、日々の業務を通じて、日本の農業を支え、農村の維持・発展に直接貢献していることを現場で実感できることにやりがいを感じます。
- 業務内容は、水利施設の整備やほ場整備などの農業インフラの整備から、防災対策や災害復旧などの国土強靱化の取組、農村の振興や農業の多面的機能の維持・発揮に係わる支援など多岐にわたり、幅広く多様な業務に携わることができます。

育児休暇を活用した職員（男性）の声

- 妻の出産後2ヶ月後に2か月間の育児休業を取得しました。転勤後まもなくの出産でしたので、馴れない土地での子育てへの不安や、昼夜問わずの赤ちゃんの世話で体力的な心配もありましたが、制度を利用して夫婦で協力して育児を行うことができ、とても助かりました。職場でも、休業期間中の業務の調整などフォローがあり、安心して制度を利用することができました。
- 育児休暇期間の経験から子育てへの意識も高まり、妻の手伝いではなく、父親の役割として子育てに取り組んでいます。

職場の印象

- 自分と同世代の人が多く、仕事以外の話などで気軽に話すことができます。また、上司等がいろいろと気に掛けてくれて、質問や相談を行いやすく、コミュニケーションがとりやすい職場だと思います。
- 職場には、農業農村工学系以外の職種の職員も多く、様々な分野のことを学ぶことができます。また、組織や職種の垣根を越えて職員が一丸となって仕事に向かっていく雰囲気があります。
- 有給休暇取得促進や定時退庁日の設定など、ライフワークバランスの確保に積極的な職場です。働くときは働き、休むときは休むことを職場全体に浸透しているため、仕事とプライベートのどちらも大切にしていると感じます。



今後の説明会等の御案内

★オンライン業務説明（毎月1回開催）

本資料に沿ってオンラインで説明を行います。資料を見て興味が湧いた方や、説明を聞きたい、資料について質問したいという方はぜひご参加ください。

特に、初めて説明を聞く方向けに、基本的な業務内容・キャリアパス等について、総合職と一般職の違いも含め丁寧に御説明します。

★オンライン座談会（毎月2回開催）

皆様のご相談・ご質問に農業工学系の採用担当者が丁寧に答えします。

仕事だけではなくプライベートのことも聞きたい方や試験勉強や官庁訪問について質問がある方はぜひご参加ください！

★職場訪問（随時受付）

「大学の先輩と話したい」「職場の雰囲気を知りたい」「関心のある政策について詳しく聞いてみたい」といった要望にお答えします。

対面形式では本省に来ていただき実際の職場を見学できます。

★地方農政局説明会（農村振興技術系）

総合職よりも一般職の説明を聞きたいという方にオススメです。

対面形式は、各地方農政局の本局等で実施しますので、実際の職場を見て働くイメージをつかんでいただけると思います。

その他の説明会やインターンシップ、現場見学会等も農水省HPにてご案内します！

- ・ 秋/春の技術オープン（1dayの現場見学会）
- ・ 霞ヶ関オープン
- ・ 省庁合同説明会 など

ホームページ
をチェック！

お申込方法等の詳細は、農林水産省HP

「業務説明会情報（農業工学系、農村振興技術系）」を御覧ください。



お問合せ先：農林水産省大臣官房秘書課（農業工学系）
Mail: saiyou_noudo@maff.go.jp Tel: 03-3502-5568

初公開！
官係系 YouTuber 誕生
BUZZMAFF
 ば ず ま っ ぶ

**日本の
 農林水
 産業を
 世界へ**

MAFF
 Ministry of Agriculture,
 Forestry and Fisheries
 農林水産省

チャンネル登録をお願いします！
 農林水産省職員がYouTuberとなり、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや魅力を発信するプロジェクトです。

ばずまっぶ



農業遺産で
**太鼓
 たたき隊**



いま、
 農にゆきます

農 & NOH AND

のーはくちほー



マッスル官僚

腹筋割らないか？
 筋トレしないか？

#健康的食事
 #ボディメイク



考えるだけの人
 卒業しよう！

こんな感じですね。



九州の事業所

九州には14個の事業所があ



番外編 長良川河回堰

・愛知三重の間、木曾川水系長良川にある

とありませんか？



ジビエ

狩りで捕った
 野生動物のお肉のこと



f 農村振興局
 Facebook

農業・農村振興施策や地域の取組などを
 写真や動画とともにお届けしています！



地域の魅力発信中。